

## 国指定史跡

# 上神主・茂原官衙遺跡の時代

ご存知ですか？

## 上神主・茂原官衙遺跡

上三川町にある唯一の国指定史跡、上神主・茂原官衙遺跡をご存知ですか？上神主と宇都宮市茂原町に広がるこの遺跡は、古代の人名瓦が多数出土することから、上神主廃寺跡として知られていましたが、平成7年度以降に行われた発掘調査によって、寺院の跡ではなく、官衙（役所）の跡であることがわかりました。

この遺跡は、田川の氾濫原を東に望む台地上に位置しています。遺跡の規模は、南北約370m、東西250mに及び、中央に政治や儀礼を行う政庁域、南に税物を納めるための正倉域（倉庫群）があり、北側には関連する施設が広がるなど、古代の地方官衙の典型的な姿をしています。

政庁域は広場を中心に「コ」字形に大型建物が並びます。正倉域からは約50棟の建物跡が確認されており、大部分は掘立柱の高床の倉庫だったものと思われます。この中には遺跡で唯一瓦が葺かれた建物があり、その大きさは東西約31m、南北約9mに及び、奈良県奈良市の東大寺にある正倉院の建物を一回り小さくした建物であったと考えられます。この建物に葺かれていた瓦には、ヘラ状の道具で人の名前が刻まれているものがあり、発掘調査で1,200点

ほど出土し、100人ほどの名前が確認されています。このほかに、当時、都と東北地方を結んだ幹線道路である、東山道と推定される道路跡も確認されています。

このような特徴から、本遺跡は当時の下野国河内郡役所と考えられています。同様な建物跡が発見されている多功遺跡（天神町）があることや、東山道との関係から郡役所関係の施設や、交通関係の施設など、様々な性格を考えることができる遺跡です。

今年度は古代の重要な遺跡である上神主・茂原官衙遺跡にかかわる、様々な話題を紹介していきます。



上神主・茂原官衙遺跡は郷土の貴重な財産です

## た報俳句

風光る 一列に行く ランドセル

浜野 正男

朝刊に 畳まれて 来し 余寒かな

大八木 喜重郎

逞ましく 芽吹く 大樹の日和かな

柳田 石村

啓蟄や 葱畑にも 土竜塚

蓬田 四方

千の東風 大きな空を 吹きわたる

伊沢 静香

時代びな みやびに 並ぶ 武家屋敷

浜野 マス子

罅に 耳をとられて 躓きぬ

阿部 信子

啓蟄や 足裏の土の やわらかき

野沢 花枝

つと 納豆恋しき 郷の春の夜

上野 キミエ

強東風や 火種の 怒り 治まらず

武井 ミイ子

